平成 27 年度 自己評価報告書

(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

平成 28 年 3 月 29 日

福岡医療専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	基準5 学生支援.....	24
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	2	5-16 就職等進路.....	25
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-17 中途退学への対応.....	26
基準2 学校運営.....	5	5-18 学生相談.....	27
2-2 運営方針.....	6	5-19 学生生活.....	28
2-3 事業計画.....	7	5-20 保護者との連携.....	30
2-4 運営組織.....	8	5-21 卒業生・社会人.....	31
2-5 人事・給与制度.....	9	基準6 教育環境.....	33
2-6 意思決定システム.....	10	6-22 施設・設備等.....	34
2-7 情報システム.....	11	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	35
基準3 教育活動.....	12	6-24 防災・安全管理.....	36
3-8 目標の設定.....	13	基準7 学生の募集と受入れ.....	37
3-9 教育方法・評価等.....	14	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	38
3-10 成績評価・単位認定等.....	16	7-26 入学選考.....	39
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	17	7-27 学納金.....	40
3-12 教員・教員組織.....	18	基準8 財務.....	41
基準4 学修成果.....	20	8-28 財務基盤.....	42
4-13 就職率.....	21	8-29 予算・収支計画.....	43
4-14 資格・免許の取得率.....	22	8-30 監査.....	44
4-15 卒業生の社会的評価.....	23	8-31 財務情報の公開.....	45

基準 9 法令等の遵守	46
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	47
9-33 個人情報保護.....	48
9-34 学校評価.....	49
9-35 教育情報の公開.....	50
基準 10 社会貢献・地域貢献	51
10-36 社会貢献・地域貢献.....	52
10-37 ボランティア活動.....	53

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	平成 27 年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策																												
<p>○ 教育理念 親が子に残せる唯一の財産は教育である。</p> <p>○ 目 標 教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、知識・技術・人間性を兼ね備えた人材を育成することを目的とする。</p>	<p>○ 教育活動・学修成果 卒業生の国家資格全員合格はもちろんのこと、知識・技術・人間性を兼ね備えた医療人を育成する。</p> <p>○ 就 職 一人ひとりが自己実現できるよう就職活動を支援し、就職率 100%を目指す。</p> <p>○ 職業実践専門課程 文部科学大臣が認定する職業実践専門課程を通じた教育の質の保証・向上に取り組む。</p>	<p>○ 教育活動・学修成果 国家試験等合格率（平成 27 年度卒）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>柔道整復師</td> <td style="text-align: right;">97.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（154 名受験、150 名合格）</td> </tr> <tr> <td>はり師</td> <td style="text-align: right;">100%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（45 名受験、45 名合格）</td> </tr> <tr> <td>きゅう師</td> <td style="text-align: right;">100%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（45 名受験、45 名合格）</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td style="text-align: right;">92.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（50 名受験、46 名合格）</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td style="text-align: right;">100%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（28 名受験、28 名合格）</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td style="text-align: right;">97.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（34 名受験、33 名合格）</td> </tr> <tr> <td>JATI</td> <td style="text-align: right;">100%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（23 名受験、23 名合格）</td> </tr> </table> <p>○ 就 職 全学科 100%（平成 26 年度卒）</p> <p>○ 職業実践専門課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程編成委員会の開催 ・ 企業等と連携した授業の実施 ・ FD セミナー・教員研修等の実施 ・ 自己点検・評価、学校関係者評価の実施及びホームページ上の公表 	柔道整復師	97.4%	（154 名受験、150 名合格）		はり師	100%	（45 名受験、45 名合格）		きゅう師	100%	（45 名受験、45 名合格）		理学療法士	92.0%	（50 名受験、46 名合格）		診療放射線技師	100%	（28 名受験、28 名合格）		看護師	97.1%	（34 名受験、33 名合格）		JATI	100%	（23 名受験、23 名合格）		<p>○ 教育活動・学修成果 国家試験は年々、難易度を増している。一方、入学生の学力や社会人基礎力の低下が見受けられる。 今後は、学生一人ひとりに対応したきめ細やかな教育指導を、組織的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>○ 就 職 医療機関の求人募集の時期が年々早まっている。一人ひとりが希望先に就職できるように、就職課による支援スケジュールを早めていく必要がある。</p> <p>○ 職業実践専門課程 課程を通じた PDCA サイクルを積極的に推進して、教育の質の保証・向上に全校を挙げて取り組んでいく。</p>
柔道整復師	97.4%																														
（154 名受験、150 名合格）																															
はり師	100%																														
（45 名受験、45 名合格）																															
きゅう師	100%																														
（45 名受験、45 名合格）																															
理学療法士	92.0%																														
（50 名受験、46 名合格）																															
診療放射線技師	100%																														
（28 名受験、28 名合格）																															
看護師	97.1%																														
（34 名受験、33 名合格）																															
JATI	100%																														
（23 名受験、23 名合格）																															

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念・目的・育成人材像は、学校案内パンフレット及び本校ホームページなどによって広く関係者への周知を図っている。</p> <p>教育課程編成委員会や次年度教育内容会議等を通じて、関連業界等が求める人材像を把握しながら、適宜、育成人材像についての見直を図っている。その結果、本年度、一部育成人材像の見直しを行った。全学科の共通事項、基礎医学力、実践的臨床力及び人間性を有し、即戦力を備えた医療人の養成を目指している。</p>	<p>全 5 学科が職業実践専門課程の認定を受けており、この制度を活用し、適宜育成人材像を見直して、さらに実践的な教育を進めていく方針である。</p> <p>職業専門大学（仮称、平成 31 年設置予定）が現在、中央教育審議会で審議されている。本校はその設置に向けた作業を開始している。</p>

最終更新日付	平成 28 年 2 月 17 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	教育理念・目的・育成人材像を定め、広く関係者に対し、様々な方法で公表する。	理念等は学校案内パンフレット、学生募集要項、本校ホームページ等で公表し、教職員・学生・保護者・関連業界等に周知している。	教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会などにおいて、関連業界からの意見を取り入れながら、毎年、育成人材像について見直しをする。	学校案内パンフレット 学生募集要項 本校ホームページ 学則 シラバス 教育課程編成委員会議事録 学校関係者評価委員会議事録
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	教育課程編成委員会や次年度教育内容会議等を通じて、関連業界等の人材ニーズを把握し、育成人材像の見直しに必要な情報を収集する。	教育課程編成委員会や次年度教育内容会議、学校関係者評価委員会を実施し、業界有識者や医療現場等の最前線で活躍している院長、所属長の意見を取り入れ、育成人材像見直しの参考にした。	就職先を本校教員が訪問し、就職後の本校卒業生の活躍状況を把握することにより、業界の人材ニーズをさらに詳しく把握する活動を実施する。	教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 学校関係者評価委員会議事録 シラバス 本校ホームページ
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	基礎医学力、実践的臨床力及び人間性を有し、即戦力を備えた医療人の養成を目標としている。	基礎医学フォローアップセミナー、附属臨床実習施設の活用、国家試験対策課を中心とした対策などにより特色ある教育活動を実施した。	職業実践専門課程として、さらなる実践力の向上のため、実習医療機関数を増やす必要がある。	学校案内パンフレット 本校ホームページ 学生要覧
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	職業専門大学(仮称)を平成31年に設置することを目標としている。	職業専門大学(仮称)を平成31年に設置することを教職員に示し、準備を開始した。	職業専門大学(仮称)については、現在、中教審で審議中であり、その内容は未確定な事項が多く、対外的な周知ができない。	学校案内パンフレット 本校ホームページ 教育課程編成委員会議事録 新たな高等教育機関の制度設計について(文部科学省資料)

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念・目的・育成人材像は、学校案内パンフレットや本校ホームページなどで広く関係者への周知を図っている。</p> <p>教育課程編成委員会や次年度教育内容会議等を通じて、関連業界等の人材ニーズを把握し、育成人材像の見直しに必要な情報を収集する。</p> <p>基礎医学力、実践的臨床力及び人間性を有し、即戦力を備えた医療人の養成を行い、平成 31 年に職業専門大学（仮称）を設置することを目標としている。</p>	<p>平成 26 年度よりスタートした職業実践専門課程に全て 5 学科が認定されている。</p> <p>現在、中教審で職業専門大学（仮称）平成 31 年設置予定に関する審議が行われている。</p>

最終更新日付	平成 28 年 1 月 29 日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------------	-------	------

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営方針は、理事会で決定した事業計画に基づき、理事長自らが教職員会議で説明することにより、教職員に周知徹底している。その内容は議事録にまとめられ、教職員が学内ネットワークで閲覧できる体制を取っている。</p> <p>学校運営に必要な会議については、学校会議規程を設けて組織的に行われている。今年度は、担当学科ごとに副校長職を置き、役割を明確化してより適切な運営に努めている。</p> <p>将来構想にある職業専門大学（仮称）の設置基準は、現在、中央教育審議会で審議されている。審議結果に柔軟に対応できるよう、事業計画を策定している。</p> <p>今後の学校運営に対応するため、優秀な人材の確保が必須であるので、ホームページによる募集を随時行っている。また、外部の研修を積極的に活用し、教職員だけでなく事務職員の資質向上にも力を注いでいる。</p> <p>学内ネットワークの利用については、さらに情報の共有化を進めて業務の効率化を行うことを目指している。課題として、卒業後の状況に関する情報管理の整備が不十分であったので、就職課を中心にデータ収集を進め、教育活動に活用していくことにしている。</p>	<p>本校の学校運営の特徴は、教育体制を 5 学科制とする一方、校務分掌組織は学科横断的に編成し、学科を超えた連携ができる協働体制を整備していることである。そのため、教職員の座席を学科ごとに固定しないよう、学年や校務分掌に応じた配置を意図的に行っている。</p> <p>医療技術者養成施設として、教員自身の臨床技術能力の維持向上が課題である。本校付属の臨床実習施設を活用したトレーニングや、外部医療機関との連携を通じた自己研さんを支援している。</p> <p>職業実践専門課程に基づく、外部医療機関と連携した演習・実習をさらに強化する方針である。卒業後の状況に関するデータを共有して、実習医療機関等の新規開拓などに活用していく。</p>

最終更新日付

平成 28 年 2 月 17 日

記載責任者

滝沢 哲也

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	学校会議規程を定め、理念に沿った運営方針を組織として決定し、議事録としてまとめて教職員に周知徹底することを目標とする。	運営委員会を組織し、週1回の運営会議並びに月1回の教職員会議をとおして、運営方針の指示・伝達を徹底している。	FD セミナーを通じて、教育理念や運営方針の理解を教職員がさらに深める活動に取り組んでいる。	学校会議規程 運営会議議事録 教職員会議議事録 FD セミナー抄録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校会議規程を定め、理念に沿った運営方針を組織として決定し、議事録としてまとめて教職員に周知徹底することを目標としている。</p> <p>運営委員会を組織し、週1回の運営会議並びに月1回の教職員会議をとおして、運営方針の指示・伝達を徹底している。</p>	FDセミナーを活用した教育理念や運営方針などの理解を深めるよう努めている。

最終更新日付	平成28年1月29日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------	-------	------

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	中期計画ならび単年度事業計画を定め、適切な学校運営に努める。 学科ごと校務分掌ごとにその業務の進捗状況を把握する。	学科・校務分掌ごとに定期的に会議を実施し、事業計画の進捗状況を把握している。副校長職が担当する学科を明確化し、適切な業務執行に努めている。	職業専門大学（仮称）の内容は現在、中教審で審議されており、その結果を踏まえて柔軟に事業計画を変更する必要がある。	事業計画書 学科会議議事録 課内会議議事録 組織図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中期計画ならび単年度事業計画を定め、適切な学校運営に努めている。学科ごと、校務分掌ごとに定期的に会議を実施し、事業計画の進捗状況を把握している。さらに、副校長職が担当する学科を明確化し、適切な業務執行に努めている。</p> <p>職業専門大学（仮称）の内容は現在、中教審で審議されており、その結果を踏まえて柔軟に事業計画を変更する必要がある。</p>	<p>職業専門大学（仮称）に関する中教審の審議は平成28年夏頃に大勢が判明するという見通しをもっている。現時点では、平成31年度設置予定であり、本校は初年度の設置認可を目指している。</p>

最終更新日付	平成28年1月29日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------	-------	------

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	寄附行為の規程に基づき理事会と評議員会を開催して適切な運営を行う。	寄附行為の規定により開催された理事会と評議員会の審議内容を議事録にまとめている。	理事および評議員に対する学校運営ならび教育活動の情報提供を迅速化することが課題である。	法人寄附行為 理事・監事・評議員名簿 理事会議事録 評議員会議事録 組織図
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校運営のための組織および規程を整備して、適切な学校運営に取り組む。	教育体制は5学科体制とする一方、校務分掌組織は学科横断的に編成し、学科を超えた連携ができる協働体制を整備している。	学校の組織運営に携わる事務職員のさらなる資質向上のために、外部の研修を活用する必要がある。	学校会議規程 学校業務規程 組織図 法人寄附行為 研修参加報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理事会、評議員会を寄附行為の規程に基づき適切に開催し、議事録を作成している。</p> <p>学校運営のための組織は教育体制を5学科制とする一方、校務分掌組織は学科横断的に編成し、学科を超えた連携ができる協働体制を整備している。</p> <p>学校運営は年々多様化し、従来の知識だけでは対応だけできないことができた。職業実践専門課程の認定維持や職業専門大学（仮称）設置に向けて、事務職員のさらなる資質向上のために、外部の研修を活用する必要がある。</p>	<p>平成28年度に第三者評価を受審する計画があるので、それに対応できる人材の養成が急務であり、事務職員を外部研修に積極的に参加させている。</p>

最終更新日付

平成28年1月29日

記載責任者

梅崎 航

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	事業計画に基づき必要な人材を確保する。勤務規定、給与規定を定めて、必要な人材の確保に努める。	採用時期は年度初めに限定せず、必要かつ優秀な人材の存在が把握できた場合は直ちに担当者が対応する体制を取っている。求人方法は主にホームページを用いている。	現在の勤務体制に改良を加え、育児と仕事が両立できて、働きやすい柔軟な勤務環境を整えていく。	勤務規定 給与規定 教職員名簿 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>事業計画に基づき必要な人材を確保する方針である。勤務規定、給与規定を定めて、必要かつ優秀な人材の確保に努めている。</p> <p>採用時期は年度初めに限定せず、必要かつ優秀な人材の存在が把握できた場合は直ちに担当者が対応する体制をとっている。求人方法は主にホームページを用いている。</p>	<p>育児と仕事が両立できるよう、さらに柔軟な勤務体制を求める声があるので、改良を加え、働きやすい環境を整えていく。</p>

最終更新日付	平成 28 年 1 月 29 日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------------	-------	------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	意思決定の役割分担等を学校会議規程等で明確にして、意思決定を行う。	学校会議規程等に基づき、各会議が開催される。決定した内容を議事録にまとめ、さらに教職員会議等で教職員に伝達している。	学校が抱える問題は多様化しており、規程等を適宜見直す必要がある。	学校会議規程 運営会議議事録 教職員会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>意思決定の役割分等を学校会議規程等で明確にして、意思決定を行っている。決定した内容は議事録にまとめ、さらに教職員会議等で教職員に伝達している。</p> <p>しかし、学校が抱える問題は多様化しており、規程等を適宜見直す必要がある。</p>	<p>職業実践専門課程の要件の一つに、学校関係者評価の意見を学校運営に活用することが求められており、本校においても、学校関係者評価委員会等の意見を活用することに努めている。</p>

最終更新日付	平成 28 年 1 月 29 日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------------	-------	------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	学内ネットワークを整備し、業務の効率化を図る。 コンピューター等使用のルールを定め、適切なメンテナンスを実施し、セキュリティ対策を万全にする。	学内ネットワークによるメール・掲示板・スケジュール管理・情報共用フォルダの活用などを行っている。	卒業後の状況に関する情報管理の整備がまだ不十分であり、データ収集を進める必要がある。	パソコン配置図 コンピューター使用ルール ウィルス感染等の防止について 個人情報保護規定

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学内ネットワークを整備し、業務の効率化を図っている。コンピューター等使用のルールを定め、適切なメンテナンスを実施し、セキュリティ対策を万全にしている。</p> <p>具体的にはメール・掲示板・スケジュール管理・情報共用フォルダの活用などを行っている。</p> <p>課題として、卒業後の状況に関する情報管理の整備が不十分であったので、データ収集をさらに進める必要がある。</p>	<p>職業実践教育を充実させるため、実習医療機関をさらに開拓することが求められている。卒業後の状況のデータを活用して、全校をあげて取り組む方針である。</p>

最終更新日付	平成 28 年 1 月 29 日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------------	-------	------

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念等の達成に向けて、教育課程の編成や実施の方針を全学で共通理解し、それを学科ごとの教育到達レベルに反映させている。教育課程は全学とも 3 分野で構成して、学科ごとに職業教育や国家資格取得のために必要な科目を配置している。これらの情報は本校ホームページ等で積極的に公表している。</p> <p>今後は、文書化したカリキュラムポリシーの公表や世情に沿った授業の見直しにより、教育到達レベルの維持に努める。</p> <p>関連業界等の要職で構成する教育課程編成委員会と学内の教員で運営する次年度教育内容会議の両輪として、教育課程を体系的に編成及び改定している。キャリア教育についても産学協同で体系的に教育課程に組み込んでいる。</p> <p>授業評価については学生アンケートを実施している。教育目的・目標に沿った人材を育成するため、様々な関連業界等の意見を取り入れながら、教育課程の編成及び改定を進める。初年次教育や OSCE 等の導入も検討している。</p> <p>成績評価及び修了認定基準は学生要覧に明記しており、全学生に配布している。また、判定会議を実施して客観性や統一性の確保に努めている。既修得単位は学則に従い認定をしている。</p> <p>本校は、学科ごとに取得目標となる医療系国家資格は明確であり、それを目指して 1 年次から最終学年までの指導体制はもちろん、国家試験不合格者への指導体制も万全である。今後は成績優秀者への有益なセミナー参加も増やしていく。</p> <p>教員は、学科ごとに厚生労働省令の指定基準を満たす者を配置している。各種研修会やセミナーへの参加や臨床研修により、教員の指導力と専門性の向上に取り組んでいる。</p>	<p>国家試験の合格は最低ラインであり、教育課程の枠を超えた取組を行っている。国家試験対策の補習、就職に役立つ資格の取得やインターンシップ、実践力を身に付けるためのセミナーや部活動等のトレーナー活動、医療・介護系ボランティア活動、生涯学習や研究活動の礎となる学会参加など、様々なニーズに応えられるような職業教育を実践している。</p> <p>「臨床医学の礎となる基礎医学の大学教授等による講義」、「臨床の現場に立つ医師ら有資格者による臨床体験を交えた講義や実技」、「連携する企業の役職員等による実技演習」、「実際の臨床現場での臨床(臨地)実習」等を体系的に教育課程に組み込み、職業教育及び職業実践教育を推進している。</p> <p>生涯学習という観点から、殆どの学科で学生一人あたり数回の症例報告会や研究発表を実施している。</p> <p>国家資格取得のフォロー体制だけでなく、就職に有利な資格の取得（リンパ浮腫治療、スポーツ関連、美容関連、放射線取扱 等）にも力を入れている。</p> <p>学科ごとの教員組織に縛られることなく、全学で横断的に交流することによって、互いのよい点を吸収し、切磋琢磨している。また、得意分野を互いに提供するとともに、共通案件には連携して対応する等の協力体制を構築している。</p>

最終更新日付	平成 28 年 2 月 17 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参9照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念等（理念・目的・育人材像）の達成に向けて具体的な教育課程を編成・実施していく上で、全学として基本となる方針を示すようにする。	教育課程を全学とも基礎、専門基礎、専門の3分野で構成している。また、理念等に沿った職業教育を行うための科目を学科ごとに配置している。 これらは学校案内パンフレットや本校ホームページにて公表している。	方針を体系化した形で公表はしているが、カリキュラムポリシーとして文書化したものを公表する必要がある。	学則 学校案内パンフレット 本校ホームページ
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	教育課程の編成方針、実施方針および職業教育に関する方針に基づき、理念等に適合した教育到達レベルを学科ごとに設定する。	学科ごとに教育到達レベルを明確にするとともに、職業教育そして国家資格取得のための教育課程を編成している。 これらは本校ホームページの「カリキュラム」や「職業実践専門課程の基本情報（様式4）」で公表している。	時代とともに学生の意識が変化している中で、教育到達レベルを維持するため、能動的学習を促すような授業を展開する等、学科ごとに教育課程の見直しが必要である。	学則 学生要覧 学校案内パンフレット 本校ホームページ 本校ホームページ（職業実践専門課程の基本情報（様式4））

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念等の達成に向けて、教育課程の編成や実施の方針を全学で共通理解し、それを学科ごとの教育到達レベルに反映させている。</p> <p>教育課程を全学とも3分野で構成し、学科ごとに職業教育や国家資格取得のために必要な科目を配置している。</p> <p>これらの情報は本校ホームページ等で積極的に公表している。</p> <p>今後、文書化したカリキュラムポリシーの公表や世情に沿った授業の見直しにより教育到達レベルの維持に努める。</p>	<p>国家試験の合格は最低ラインであり、教育課程の枠を超えた取組を行っている。国家試験対策の補習、就職に役立つ資格の取得やインターンシップ、実践力を身に着けるためのセミナーや部活動等のトレーナー活動、医療・介護系ボランティア活動、生涯学習や研究活動の礎となる学会参加など、様々なニーズに応えられるような職業教育を実践している。</p>

最終更新日付	平成28年1月29日	記載責任者	藤瀬 正
--------	------------	-------	------

3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	学科ごとの教育目的・目標(育成人材像)の達成に向けた教育課程を体系的に編成する。	規程に則った教務委員会(教育課程編成委員会と次年度教育内容会議)にて、科目の配置、科目内容、授業形態、学習指導を定期的に見直し、体系的な教育課程を編成している。	教育目的・目標に沿った人材を育成するため、初年次教育による意識の向上を図る必要がある。科目内容等を精査し、学科ごとに教育課程を見直す必要がある。	学則 学校会議規程 教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 職業実践専門課程 様式 4 シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	関連業界等(職能団体、学会、企業、卒業生等)から具体的な意見を聴取し反映する。	教育課程編成委員会の委員に関連業界等の役職員や有識者を充てている。職業教育や職業実践教育について意見聴取や評価を行い、教育課程の編成及び改定に反映している。	教育課程編成委員会の構成委員に学会の有識者や卒業生が少ないので、様々な立場の関連業界等に委員を委嘱することによって、幅広い見地からの教育課程の編成及び改定を目指したい。	学則 学校会議規程 教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 職業実践専門課程 様式 4 シラバス
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	知識・技術・技能の修得に加え、コミュニケーションや問題解決などの能力を養うことが必要である。その教育を体系的、総合的に行う。	基礎分野と臨床(臨地)実習を中心としたキャリア教育を行っている。基礎分野は接遇の基礎となる科目を配置している。臨床(臨地)実習は学年ごとに達成すべきコミュニケーション力や問題解決能力を設定し、実際の臨床現場にて実習を行い、それを産学協同で評価している。	臨床(臨地)実習前に実技審査や技術試験を実施し到達レベルを確認しているが、コミュニケーション力や問題解決能力の評価は困難である。OSCEの導入など有効な評価法を検討していく。 実習や演習等で連携する企業を更に増やし、職業実践教育を一層充実する。	学則 学校会議規程 教育課程編成委員会議事録 次年度教育内容会議議事録 職業実践専門課程 様式 4 シラバス 連携企業との協定書

3-9-4 授業評価を実施しているか	学生、教員、関連業界等による授業評価から得られる情報は教育システムの確立・見直しに活用する。	全ての教育課程を修了した後に全科目の学生アンケートを実施している。結果は必要と考えられる教員にフィードバックしている。	関連業界等の意見を参考に、教育課程の改定や授業改善を進めていく。	学生アンケートの実施資料及び結果
--------------------	--	---	----------------------------------	------------------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学科ごとの育成人材像に沿った教育課程を体系的に編成する。この教育課程の中にキャリア教育も組み込む。関連業界等の意見を参考にして、教育課程の確立や見直しを行う。</p> <p>関連業界等の要職で構成する教育課程編成委員会と学内の教員で運営する次年度教育内容会議の両輪として、教育課程を体系的に編成及び改定している。キャリア教育についても産学協同で体系的に教育課程に組み込んでいる。授業評価については学生アンケートを実施し、必要と考えられる教員にフィードバックしている。</p> <p>教育目的・目標に沿った人材を育成するため、様々な関連業界等の意見を取り入れながら、教育課程の編成及び改定を進める。初年次教育や OSCE 等の導入も検討する。</p>	<p>「臨床医学の礎となる基礎医学の大学教授等による講義」、「臨床の現場に立つ医師ら有資格者による臨床体験を交えた講義や実技」、「連携する企業の役職員等による実技演習」、「実際の臨床現場での臨床(臨地)実習」等を体系的に教育課程に組み込み、職業教育及び職業実践教育を推進している。</p>

最終更新日付	平成 28 年 1 月 29 日	記載責任者	藤瀬 正
--------	------------------	-------	------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価基準を学則及び履修要項で定め、それに従って成績評価や修了の認定を行う。客観性や統一性を確保するため、成績判定会議を開催する。 既修得単位の認定についても学則に従って取り扱う。	成績評価基準を学則及び履修要項に定めている。これらは学生要覧に示しており、全学生に配布している。成績判定会議を開催して、成績評価や修了の認定を行い、客観性や統一性の確保に努めている。 既修得単位は学則に従い認否をしている。学生向けに説明会を行い、申請書を提出させた上で会議にて認定をしている。	他教育機関で修得した単位に関する教育内容は、学生の口頭説明を主としている。今後は、より適正な運用をするために他教育機関が発行した教育内容に関する書類（シラバス等）で照合することを検討している。	学則 学生要覧 履修要項 成績判定会議議事録 既修得単位の認定資料及び議事録
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	学生の研究発表は指導教員の指導の元で実施する。	学生が発表する機会として、「学会発表」や、臨床(臨地)実習の「症例報告会」等がある。これらは全て指導教員の指導の元で実施している。その成果については、前者が受賞状況、後者が成績評価の一項目として把握している。	学会発表については、抄録等により記録として残しているが、個人の記録として残るよう指導要録に記載することを検討している。	学会発表時の抄録 症例報告会の評価表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価及び修了認定基準は学生要覧に明記しており、全学生に配布している。また、判定会議を実施して客観性や統一性の確保に努めている。 既修得単位は学則に従い認定をしている。今後、他教育機関のシラバス等による教育内容の照合を検討している。 学生の研究発表は指導教員により管理されているので、その成果も把握している。学会発表が個人の記録として指導要録に残るよう検討している。	生涯学習という観点から、殆どの学科で学生一人あたり数回の症例報告会や研究発表を実施している。

最終更新日付

平成 28 年 1 月 29 日

記載責任者

藤瀬 正

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	学科ごとに取得目標とする資格を明確に定める。	学科名が取得目標の医療系国家資格となっており、取得できる資格、その業務内容や進路については、学校案内パンフレット、本校ホームページ、学生募集要項で示している。	本校は教育課程の中に選択科目がなく、全単位を修得する必要がある。既知のことであるが、改めて記載するかを検討する必要がある。	学則 履修要項 学校案内パンフレット 本校ホームページ 学生募集要項
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	資格取得のために、授業科目での指導に加え、授業時間外の指導方法や指導体制を構築する。	授業科目での指導に加え、授業時間外の指導体制が1年次から最終学年まで構築している。指導方法は学年や学科、学期等により異なり、定期試験等の成績判定会議にて、有効な指導方法を決定している。 クラス担任制の元、学生一人ひとりにきめ細やかな指導ができる体制を整えている。 資格試験が不合格者だった者には授業や補習に参加できる再チャレンジ制度がある。	成績不良者向けの補習とともに、成績優秀者や学習意欲の高い学生に対しても、就職に有利な資格の取得や実践的なセミナー等を提供している。これからも、内容の充実を図り、有益な資格取得コースやセミナー等を増やしていくよう検討している。	学校案内パンフレット 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科ごとに取得目標となる医療系国家資格は明確であり、それを目指して、1年次から最終学年までの指導体制はもちろん、国家試験不合格者への指導体制も万全である。今後は成績優秀者への有益なセミナー参加も増やしていく。	国家資格取得のフォロー体制だけでなく、就職に有利な資格の取得（リンパ浮腫治療、スポーツ関連、美容関連、放射線取扱等）にも力を入れている。

最終更新日付	平成28年1月29日	記載責任者	藤瀬 正
--------	------------	-------	------

3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	学科ごとに取得する国家資格に関する厚生労働省令の指定基準を満たす教員を確保する。	<p>学科ごとに厚生労働省令の指定基準を満たす教員を配置している。</p> <p>将来の教員候補者が付属臨床施設で医療技術者としての研さんを積めるような研修制度がある。</p> <p>一人あたりの授業時数を考慮し、一週間のうち一日は研修日に充てられるような配慮をしている。</p>	教員一人あたりの授業時数や学生数を把握し、配置計画に反映する必要がある。	医療六法
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の教授力と専門性が向上するような取組みを行う。	<p>学外教員研修会や学内FDセミナー、毎週の各学科勉強会等をとおして指導力及び資質の向上に努めている。各学科勉強会については、他学科の教員にも案内し自由に参加できるようにしている。</p> <p>臨床研修日を設けて、実務に対する専門性を確保している。</p> <p>研究活動や各職域の認定資格研修といった教員のキャリア開発への支援を行っている。</p>	教員養成コースのない医療技術職については、学内外の研修に参加して指導力及び資質の向上を図る必要がある。	FDセミナー抄録 各科勉強会報告書

3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員組織における業務分担や責任体制を明確化する。	<p>学科担当副校長、学科長、学年主任、クラス担任といった体制をとっている。学科ごとに実施している週一回の各学科会議や勉強会の際に教員間の連携・協力体制や授業内容・教育方法の改善を図っている。</p> <p>分野ごと、常勤・非常勤間の連携・協力体制は、教務課が窓口となって対応している。</p>	<p>学科ごとの業務分担や責任体制は明確になっているが、分野ごとについては、教務課が主体となって各所と調整している。分野ごとの組織についても検討していく必要がある。</p>	クラス担当表
------------------------	--------------------------	---	--	--------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学科ごとに厚生労働省令の指定基準を満たす教員を配置している。教員は、各種研修会やセミナーへの参加や臨床研修により、教員の指導力と専門性向上に取り組んでいる。会議や勉強会等で教員間の意思疎通を密に連携・協力体制を構築し、授業内容・教育方法の改善を図っている。</p>	<p>学科ごとの教員組織に縛られることなく、全学で横断的に交流することで、互いの良い点を吸収し、切磋琢磨している。また、得意分野を互いに提供し、共通案件には連携して対応する等の協力体制を構築している。</p>

最終更新日付	平成 28 年 1 月 29 日	記載責任者	藤瀬 正
--------	------------------	-------	------

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の求人倍率は高水準を維持し、就職率は100%である。しかし、早期離職者もいる。学生の希望に沿った就職ができるように、支援体制の拡充を図っていく。各年度とも卒業時の就職先などについては把握できているが、転職先や開業実績については報告がなければ、実態がつかめていないのが現状である。</p> <p>国家試験合格率は高水準を維持しているが、残念ながら不合格者もみられる。国家試験についても、年々変更点もみられるため、毎年、反省点、改善すべき点を各学科で洗い出し、対策講座に取り入れていく。就職後を見据えた技術面に対しても、臨床実習、セミナー等の内容を充実させなければならない。</p> <p>卒業生の活躍の把握は、教育の質、内容を図るだけでなく、学生募集活動や就職先拡大にもつながることを全教員が認識し、情報収集に努めなければならない。具体的には、卒業生名簿の拡充と見直し、教員による積極的な訪問活動、学会等への参加が必要である。</p>	<p>就職課の方針 一人ひとりの自己実現を目指すことを方針とし、学生個々の適性や希望に沿えるよう、また、就職後の活躍を支援するとともに、キャリアアップを推進する。</p> <p>本校の国家試験合格率（平成 27 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道整復師 97.4% ・はり師 100% ・きゅう師 100% ・理学療法士 92.0% ・診療放射線技師 100% ・看護師 97.1% <p>卒業後、卒業生の勤務先を教員が訪問し、フォローアップの実施や求人先情報の増加に努めている。</p> <p>校友会を組織し、年 2 回実施し、卒業生の親睦やキャリアアップを目的とした学術研究会を実施している。</p> <p>平成 26 年度より、国家試験再チャレンジコースを設置し、他校で国家試験に不合格した人を受け入れる体制をつくっている。</p>

最終更新日付

平成 28 年 3 月 29 日

記載責任者

滝沢 哲也

4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	一人ひとりの自己実現を目指すことを方針とする。学生個々の適性、希望に沿えるよう、また、就職後の活躍の支援、キャリアアップを推進する。	就職課を設置し、求人情報の掲示や閲覧、個別相談、履歴書作成及び面接指導を実施している。 教員による就職先訪問を行い、フォローと同時に情報収集を行っている。	就職率は100%であるが、早期離職者も毎年みられるため、インターンシップ制の導入、企業説明会の実施など更なる就職支援体制の拡充を図っていく。	学校案内パンフレット 求人情報閲覧用資料 就職先・求人先訪問データ 卒業生の就職者データ(数、率) 就職活動報告書

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
求人倍率は高水準を維持しており、就職率は100%であるが、早期離職者も毎年みられるため、学生の希望に沿った就職ができるよう更なる支援体制の拡充を図っていく。具体的には長期休暇を利用したインターンシップの導入や企業説明会の実施など実現に向けて進めていく。教員による就職先訪問は継続し、求人先情報の増加に努める。	医療機関の採用活動が年々早期化しているため、その実情に合わせた支援が必要である。

最終更新日付	平成28年1月27日	記載責任者	石橋 大輔
--------	------------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家資格全員取得はもちろんのこと、医療技術者としての知識、技術も有し、即戦力を備えた人材を育成する。	国家資格取得に向けた対策講座、模擬試験を数多く実施している。 付加価値向上を目的とした、多彩なセミナーを実施している。	合格率だけでなく、全入学者に対する資格取得率向上についても分析を行い、指導内容改善に努める。 対策講座は、効率よく、個々の学生にはきめ細やかな対応ができる体制づくりを検討する。	学校案内パンフレット 国家試験合格者状況表 セミナー実施計画表 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>国家試験合格率は高水準を維持しているが、残念ながら不合格者もみられる。また、国家試験についても年々変更点もみられる。毎年、反省点、改善すべき点を各学科で洗い出し、対策講座に取り入れていく。就職後を見据えた技術面に対しても臨床実習、セミナー等の内容を充実させなければならない。</p> <p>国家試験資格取得については、教育面、経済面など種々の点から、学校全体で支援できるような体制づくりが必要である。</p>	<p>平成 26 年度より、国家試験再チャレンジコースを設置し、他校で国家試験に不合格した人を受け入れる体制をつくっている。</p>

最終更新日付	平成 28 年 1 月 27 日	記載責任者	石橋 大輔
--------	------------------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の活躍は、学校の評価だけでなく、学生募集や就職先紹介につながると考え、校友会を組織して、卒業生の活躍を把握していく。	卒業生の親睦とキャリアアップを目的に年に2回校友会を実施している。 就職先、開業先への教員の訪問活動を行っている。	卒業生も3,300名を超え、連絡疎遠先もみられる。同窓生を通じての見直しを行い、現況の把握に努める。	校友会名簿 学校案内パンフレット 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の活躍の把握は、教育の質、内容を図るだけでなく、学生募集活動や就職先拡大にもつながることを全教員が認識し、情報収集に努めなければならない。具体的には、卒業生名簿の拡充と見直し、教員による積極的な訪問活動、学会等への参加が必要である。	各年度とも卒業時の就職先などについては把握できているが、転職先や開業実績については報告がなければ実態がつかめていないのが現状である。

最終更新日付	平成28年1月27日	記載責任者	石橋 大輔
--------	------------	-------	-------

基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率 100%を目標としている。今年度、就職課を再編成し、学生が相談しやすい体制を整備した。就職セミナー、就職説明会やインターンシップ等を実施し、医療機関との連携を強化している。</p> <p>退学率を低減するため、担任制を通じた諸問題の早期発見に努めている。カウンセリングルームを複数用意して、担任と学生が話しやすい環境を整備した。また、学校附属クリニックと連携した健康管理面からのサポートや、奨学金による経済面からのサポート体制も整え、学生が学習に集中できる環境作りを支援している。</p> <p>保護者との連携は、入学前のオープンキャンパスから開始している。毎回オープンキャンパスで保護者説明会を実施して、本校の教育活動の理解を深めるようにしている。入学後は、担任と保護者の個別相談を適宜実施して、連携を強化することを方針としている。しかしながら、近年、遠方の保護者が経済的事由や仕事等で来校できず、個別面談が困難なケースが増えてきており、保護者との連携方法の工夫が求められている。</p> <p>校友会を組織し、卒業生の活躍の把握、卒後研修の実施、キャリアアップの相談等、積極的に支援する方針である。特に、柔道整復師の卒後臨床研修では、本校を会場として提供し、生涯学習の基盤作りに積極的に協力している。</p>	<p>本校に対する高い就職求人倍率（柔道整復科 8.3 倍、鍼灸科 18.6 倍、理学療法科 54.8 倍、診療放射線科 25.4 倍、看護科 268.0 倍）を反映して、各医療機関等の採用活動が年々早まってきている。こうした状況に対応した早期からの就職指導が必要である。</p> <p>文部科学省による「専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業」という授業料減免措置事業が開始されており、本校も参加を検討している。</p> <p>平成 28 年度より、留学生の受入を行うことが決定している。留学生の担当職員を配置し対応する。</p> <p>専門実践教育訓練給付金の対象講座として柔道整復科Ⅲ部、鍼灸科、看護科が厚生労働大臣より指定されており、実績を上げている。</p> <p>医療技術者は卒後臨床研修や生涯学習は必須である。学校関係者評価委員会からも、卒後臨床研修の場としての学校の支援の重要性が指摘されている。学校を挙げて、生涯学習を支援する方針である。</p>

最終更新日付	平成 28 年 3 月 29 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職率 100%を目標に、就職課を設置し、就職支援体制を整備する。また、最高学年の担任と協力して、一人ひとりの自己実現を目指している。	平成 27 年度より就職課を再編成して、閲覧用求人ファイルを細分化し、学生が閲覧しやすく、相談しやすい状況に改善した。 就職セミナーでは、面接時の服装やマナー等を細かく指導し、履歴書の記入方法や添削指導を行った。 企業説明会の開催を実施し、インターンシップによる企業との連携を実施した。	就職活動の時期が遅い理由で、希望とマッチングする医療機関が無くなるケースがみられたので、就職セミナーの開催を早める必要がある。 就職課として「就職活動のしおり」を作成し、学生に配布できるように検討する。 職業実践専門課程に協力している企業からのヒアリングを強化し、就職活動に必要なマナーやツールの指導を学生にフィードバックしていく。 実習を行っている学科は実習先への就職を斡旋していく。	学校案内パンフレット 就職セミナー活動報告書 卒業生就職課パンフレット 卒業生の活躍リーフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率 100%を目標としている。平成 27 年度より就職課を再編成し、学生が閲覧しやすく、相談しやすい体制を整備した。また、企業説明会の開催を実施し、インターンシップによる企業との連携を実施した。</p> <p>就職セミナーでは、面接時の服装やマナー等を細かく指導し、履歴書の記入方法や添削指導を行った。また、就職課として「就職活動のしおり」を作成し、学生に配布できるように検討する。</p> <p>職業実践専門課程に協力している企業からのヒアリングを強化し、就職活動に必要なマナーやツールの指導を学生にフィードバックしていく。</p>	<p>本校に対する高い就職求人倍率（柔道整復科 8.3 倍、鍼灸科 18.6 倍、理学療法科 54.8 倍、診療放射線科 25.4 倍、看護科 268.0 倍）を反映して、各医療機関の採用活動が年々早まってきている。本校として、こうした状況に対応した早期からの就職指導が必要である。</p>

最終更新日付	平成 28 年 3 月 29 日	記載責任者	田中 七郎
--------	------------------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学の主な原因を 1) 経済的困難、2) 成績不振、3) 健康状態の悪化と捉え、担任制を通じた問題の早期把握に努め、学生一人ひとりをわが子と思い、退学率の低減を図ることを方針とする。	1) 経済的困難者に対しては、奨学金の適切な利用を促している。2) 成績不振者に対しては、担任による補習を実施している。3) 健康状態の悪化については、健康診断の実施並びに付属クリニック等での受診を勧め、早期発見と早期治療ができる取組をしている。	入学前の印象と在学中に業種のギャップを感じ、目標を見失う学生がいるため、入学前サポートのさらなる充実が必要である。 また、初年度より実務体験等を実施して、モチベーションの維持向上に努める必要がある。	本校ホームページ 学生募集要項 組織図 サポートデスク概要 学生面談記録 学生個人連絡票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学の主な原因を 1) 経済的困難、2) 成績不振、3) 健康状態の悪化と捉え、担任制を通じた問題の早期発見に努めている。入学前サポートのさらなる充実が必要や初年度からの実務体験等を実施して、モチベーションの維持向上に努める必要がある。	文部科学省による「専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業」という授業料減免措置事業が開始されており、本校も参加を検討している。

最終更新日付	平成 28 年 2 月 3 日	記載責任者	田中 七郎
--------	-----------------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	カウンセリングルームを複数設置し、担任と学生が話しやすい体制と環境を整備する。また、学校附属クリニックと連携して、教員には相談できない内容についても、専門の医師に相談できる体制をつくる。	毎日、担任が学生の顔を見ることにより、異変に早期に気づくことに努めている。 学外実習中に悩んだ場合、すぐ対応できるよう担任が学校携帯を所持している。	学外で行われる長期実習時の学生の相談は主に電話で実施しているが、相談が遅れるケースが見られる。	校舎の各室の用途および面積一覧表 組織図 面談記録
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生の担当教員を配置して、留学生が安心して学べる環境を整え、適切な支援体制を整備する。	留学生の受け入れは現在までなかったが、平成28年度より受け入れを行う。 留学生の担当職員を配置した。	専門用語の対応が必要となる。担当教員による事前の準備が必要である。	平成28年度福岡県移住者子弟留学生入学許可（依頼）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カウンセリングルームを複数設置し、担任と学生が話しやすい体制と環境を整備する。また、学校附属クリニックと連携して、教員には相談できない内容についても、専門の医師に相談できる体制をつくっている。しかしながら、学外で行われる長期実習時、学生からの相談手段は電話などに限定されてしまうので、相談が遅れるケースがみられる。これらのケースに対応できる手段の改善が必要である。	平成28年度より留学生の受入を行うことが決定した。留学生の担当職員を配置し対応する。

最終更新日付	平成28年2月3日	記載責任者	田中 七郎
--------	-----------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	日本学生支援機構の奨学金による支援体制を整備している。また、本校独自の授業料減免規定を設けて、災害や家計急変等に対する支援を実施する。	学生募集の段階から、日本学生支援機構の奨学金の案内を実施している。また、本校独自の授業料減免も実施している。	文部科学省による「専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業」という授業料減免措置事業が開始しており、本校も参加を検討している。	学生募集要項 本校ホームページ 奨学金説明会実施要項 学生要覧 専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業案内文書
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	健康管理規定を整備して、学生の健康を保持し、かつ学習能力の向上を図る。	健康診断を毎年実施し、附属クリニック・整骨院・鍼灸院の利用を推進している。 附属クリニックにてインフルエンザ予防接種を推奨している。	国家試験直前になると精神的不安により体調を崩す学生も少なくない。附属臨床実習施設を受診することにより、身体的ケア、精神的ケアも行っている。	健康管理規定 組織図 学生要覧 インフルエンザ予防接種実施要項
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	提携する学生寮を設けて、遠方からの進学等により、居住に対する不安、食事に対する不安を軽減し、学習に専念できる環境を提供する。	複数の提携学生寮があり、寮母と連携をとり、保護者の不安を解消するとともに、学生が学習に集中できるよう支援を行っている。	個人情報取り扱いの問題があり、寮母との連携には制限がある。教職員が定期的に、学生寮を訪問し、生活状況を確認する等の工夫が必要である。	本校ホームページ 学生寮パンフレット

5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	様々な課外活動を体験することは、学生の職業理解を深め、学習意欲を向上させると考え、積極的に支援する方針である。	高校体育祭救護活動、高校野球福岡県大会救護活動、全国選抜高校テニス大会救護活動、アビスパU-18 トレーナー活動、下関海響マラソンボランティア活動、防災救急体験などを実施した。	課外活動に積極的に参加する学生と、全く参加しない学生とに分かれる傾向がある。課外活動の重要性をしっかりと学生に伝え、積極的に学生が参加できる環境を整えていくことが必要である。	救護活動実施報告書 本校ホームページ 学生要覧 防災救急体験実施要項
-----------------------------	---	--	---	---

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援については、学生が円滑に学校生活を送るための重要事項である。経済的支援、健康管理支援、生活環境支援、課外活動支援を実施して、学生が学習に集中できる環境を整備している。</p>	<p>平成 26 年度より、専門実践教育訓練給付金の対象講座として柔道整復科Ⅲ部、鍼灸科、看護科が厚生労働大臣より指定された。</p>

最終更新日付	平成 28 年 2 月 3 日	記載責任者	田中 七郎
--------	-----------------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	オープンキャンパスで保護者説明会を実施し、入学前より本校の教育活動の理解を深める。入学後は担任と保護者の個別相談を適宜実施して、連携を強化することを方針としている。	オープンキャンパスで保護者説明会を実施して、期待と不安の解消に努めた。また、入学後は、担任と保護者の連絡を密にとり、適宜面談を実施して、学生の問題の共有化を図った。	遠方の保護者が仕事を理由として来校することを辞退され、個別面談ができないケースが増えてきた。また、仕事が忙しく、電話等の連絡が直ぐにつながらないこともあり、保護者との連携方法に工夫が必要となってきた。	本校ホームページ 面談記録 学生個人連絡票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
オープンキャンパスで保護者説明会を実施して、入学前より本校の教育活動の理解を深めている。入学後は担任と保護者の個別相談を適宜実施して、連携を強化することを方針としている。しかしながら、近年、遠方の保護者が仕事を理由として来校できず、個別面談が困難なケースが増えてきており、保護者との連携方法の工夫が求められている。	本校では、入学前より保護者との連携を図ることを目的に、オープンキャンパスで毎回保護者説明会を開催している。

最終更新日付	平成 28 年 2 月 3 日	記載責任者	田中 七郎
--------	-----------------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<p>校友会を組織し、卒業生の活躍の把握、卒後研修の実施、キャリアアップの相談等、積極的に支援する方針である。</p> <p>柔道整復師の卒後臨床研修では、本校を会場として提供し、生涯学習の基盤作りに協力する。</p>	<p>校友会を年2回開催した。その際、特別講演ならび技術研修会を実施して、卒業生の臨床能力の向上を図った。同時に、再就職や、求人の相談も実施した。</p> <p>柔道整復師の卒後臨床研修を本校で実施した。</p> <p>卒業生の就職先訪問や SNS による研修会等イベントの告知を行っている。</p>	<p>校友会への出席者数が学科によって差異がある。魅力的なプログラムを用意し、卒業生が多く参加することが課題である。</p>	<p>本校ホームページ 校友会実施要項 卒後臨床研修実施要項 本校 Facebook、LINE</p>
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<p>職業実践専門課程を通じた、企業との連携を行い、時代のニーズに合った学生教育プログラムを作成する方針である。</p>	<p>教育課程編成委員会を年2回実施し、企業との連携をとおしてニーズに合った学生教育プログラムを作成している。</p> <p>学会・研究発表会活動において、関連団体と連携し、教員と学生が参加した。</p>	<p>卒業生の臨床能力向上を目的とした研修会実施の要望があるので、その拡充をすすめることが課題である。</p>	<p>教育課程編成委員会議事録 教員研修会参加報告書 校友会実施要項</p>
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<p>社会人が学び直して医療系国家資格を取得したいというニーズが高まっていることを認識し、修学支援を積極的に実施する方針である。</p>	<p>社会人が受験しやすいように社会人入試枠を設け、入試を10回行った。</p> <p>柔道整復科は昼夜開講制を取っている。</p> <p>また、既修得単位は履修を免除している。</p>	<p>年齢が高い社会人の就職は、一般学生と異なる事情があり、個別に担任と就職課による支援を強化する必要がある。</p>	<p>学校案内パンフレット 学生募集要項 学生要覧</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
<p>校友会を組織し、卒業生の活躍の把握、卒後研修の実施、キャリアアップの相談等、積極的に支援する方針である。特に、柔道整復師の卒後臨床研修では、本校を会場として提供し、生涯学習の基盤作りに積極的に協力している。</p>	<p>医療技術者は卒後臨床研修や生涯学習は必須である。学校関係者評価委員会からも、卒後臨床研修の場としての学校の支援の重要性が指摘されており、本校としても重要な事業として取り組む方針である。</p>		
最終更新日付	平成 28 年 2 月 3 日	記載責任者	田中 七郎

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関係法令で定められた基準以上の施設・設備（附属整骨院・鍼灸院・クリニック・リハビリテーションセンター・全教室のプロジェクター設置等）を設置して環境の向上を図っている。平成 29 年度に診療放射線科の定員増が決定しており、計画的に設備・備品を追加していく。</p> <p>学外実習等は、各学科の教育計画に基づいて実施しており、外部の医療機関等と連携し、教育体制を整備し、適切に運用している。</p> <p>理学療法科・診療放射線科・看護科は、学外実習が豊富に行われており、学生の職業に対する実学の取得、モチベーションの向上に十分な役割を發揮している。一方、柔道整復科は、インターンシップの実施体制の構築、鍼灸科はインターンシップ受入れ施設を増やすなどの課題もある。</p> <p>海外研修は本校開校以来実施しており、医療面のみならず、異文化理解の貴重な機会となっていて、本校教育の特長のひとつになっている。</p> <p>防災に関する、組織体制は整備されており、毎年 2 回の防災訓練、防災機器点検を実施している。怪我人・病人対応マニュアルを作成し、傷病者を適切に処置・対応できる体制を整えている。</p>	<p>本校は学科の隔たりがないセミナーを開校以来実施している。西洋医学・東洋医学の両方を学ぶ講義や、MRI や CT など最新の医療機器を活用した講義等、特色のある講義が通常授業以外に用意されている。</p> <p>附属整骨院、鍼灸院、クリニックが併設されており、附属臨床実習施設を利用した臨床実習が行える環境である。これらの環境を学生の教育活動のみならず教員の技術向上や研究の拠点として活用している。</p> <p>海外研修（平成 27 年度実績）は台湾・米国（ハワイ）で実施した。病院実習、解剖実習、現場視察、講義受講等を実施し、各国の医学を学んだ。また、知識・技術を学ぶだけではなく、異文化交流などをおして学生の視野も広がった。</p>

最終更新日付	平成 28 年 2 月 17 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	関係法令で定められた施設・設備を備え、各学科の教育目標に対応できるように整備を行う。	<p>関係法令で定められた設置基準を満たしており、毎年度末、点検・見直しを実施している。各学科では、教育機器の更新を定期的に行っている。</p> <p>施設・設備のバリアフリー化を図っている(車椅子利用者駐車スペース・車椅子対応エレベーター・スペースの広いトイレ・手すり付き便器等を設置している)。</p> <p>学生教育に必要な施設・設備(附属整骨院・鍼灸院・クリニック・リハビリテーションセンター・全教室のプロジェクター設置等)の拡充に取り組んでいる。</p>	定員増が決定した学科については、教育機器の拡充を検討する必要がある。	<p>校舎の各室の用途および面積一覧表</p> <p>機械器具・標本及び模型の目録</p> <p>教育用機器備品チェック表</p> <p>図書目録</p>

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>関係法令で定められた基準以上に、学生教育に必要な施設・設備(附属整骨院・鍼灸院・クリニック・リハビリテーションセンター・全教室のプロジェクター設置等)の拡充を図っている。</p> <p>平成29年度に診療放射線科が定員増することが決定しており、計画的に設備・備品を追加していく必要がある。</p>	<p>学習環境は、学科の隔たりがなくセミナー等で西洋医学・東洋医学の両方が学べ、MRIやCTなど最新の医療機器が活用されるなど、豊かな環境が整えられている。</p>

最終更新日付	平成28年2月2日	記載責任者	富永 忠雅
--------	-----------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習等は各学科の教育計画に基づいて実施する。外部の実習施設・医療機関と連携し、より実践的な職業教育を行う方針である。	学外実習は、年間実習計画表・実習マニュアルを整備し、適切に運用している。 指導者会議を実施し、関連業界の実習施設指導者と連携した臨床教育体制を整えている。 学外実習は教育効果として、学生の職業に対する実学の取得、モチベーションの向上に十分な役割を發揮している。 インターンシップは鍼灸科で平成27年度実施する。 海外研修は、柔道整復科・鍼灸科・理学療法科が、台湾・ハワイの医療機関と連携し実施する。	学生数の増加や学生の地域性などを考慮し、実習施設の開拓を継続していく。 柔道整復科はインターンシップの実施体制の構築をはかっていく。鍼灸科はインターンシップ受入れ施設を増やすなど実施体制を充実させるよう検討していく。 学外実習やインターンシップ等の指導力向上のために、付属臨床実習施設を教員の技術向上や研究の拠点として活用している。	学則 履修要項 学校案内パンフレット 本校ホームページ 年間実習計画表 臨床実習マニュアル インターンシップ受入れ承諾書 台湾研修資料 ハワイ研修資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習等は、各学科の教育計画に基づいて実施しており、関連業界の実習施設・医療機関と連携し、教育体制を整備し、適切に運用している。理学療法科・診療放射線科・看護科の学外実習における教育効果として、学生の職業に対する実学の取得、モチベーションの向上に十分な役割を發揮している。柔道整復科は、インターンシップの実施体制の構築、鍼灸科はインターンシップ受入れ施設を増やすなど実施体制を充実させるよう検討していく。 海外研修に関しては、医療面のみならず、異文化理解の機会となっている。	付属整骨院、鍼灸院、クリニックが併設されており、付属臨床実習施設を利用した臨床実習が行える環境である。また、学外実習やインターンシップ等の指導力向上のために、付属臨床実習施設を教員の技術向上や研究の拠点として活用している。

最終更新日付

平成28年2月2日

記載責任者

富永 忠雅

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	消防計画を定め、組織的な取組体制を整備している。	消防計画や総合訓練における避難誘導等マニュアルを整備し、防災訓練を定期的に行い、記録を保存している。消防設備等の整備や保守点検は法令に基づき実施し、改善の必要に応じて適切に対応している。	大規模震災に対する防災訓練を検討する必要がある。	消防計画 総合訓練任務分担表 総合訓練実施報告書 消防用設備等点検結果報告書
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	怪我人・病人対応マニュアルを作成し運用する。	学内における安全管理体制のマニュアルを整備し、事故発生時に適切に対応している。	学外実習について、担当教員を明確化し、安全管理体制を整備している。	怪我人・病人対応マニュアル 学生生徒災害傷害保険加入証 学校賠償責任保険加入証 医療分野学生生徒賠償責任保険加入証

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>防災に関しては、組織体制は整備されており、毎年2回の防災訓練、防災機器点検を実施している。</p> <p>安全管理体制に関しては、マニュアルを作成し、事故防止について周知徹底に努めている。</p>	学外実習について、担当教員を明確化し、安全管理体制を整備している。

最終更新日付	平成28年2月2日	記載責任者	富永 忠雅
--------	-----------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集活動は、高等学校の理解と専修学校協会との連携を図りながら適切に行う方針である。高等学校や専修学校協会等の申し合わせ事項に沿って、出願受付開始や入学試験開始の時期を設定している。また、学生募集活動は入試広報課が担当し、情報管理の一元化を図っている。</p> <p>入学試験に関する規程を定め、学生募集要項に選考方法等を明記して適切に運用している。入学試験に関する規程に基づき、学生募集要項に必要な事項を記載している。社会人志望者が増加しており、入学選考方法の一部を工夫することが検討課題である。</p> <p>学納金は教育内容にふさわしい、適切な水準に定めることを方針とする。また、年間諸経費を明記して、入学者が卒業までに必要な経費を明示する。入学辞退者に対する授業料等の取扱いは、平成 18 年度文部科学省通知の趣旨に沿って適正に対応している。</p>	<p>スマートフォンの普及に伴い、スマートフォン用の本校ウェブサイトを実施させている。</p> <p>平成 26 年 4 月に消費税が上がり、一部教材費のコストアップが見られたが、学生の経済的負担を考慮して学納金・年間諸経費を値上げしなかった。教育の質を下げないように、引き続き経費を見直しながら運営していく。</p>

最終更新日付	平成 28 年 2 月 17 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<p>本校の教育活動に関する情報を積極的に高等学校等へ提供する方針である。</p> <p>教育実績を掲載した学校案内等を作成し、高等学校等へ配布する。また、高等学校対象の学校説明会や出前授業を実施する。</p> <p>さらに、ホームページによる情報の開示は重要な情報提供手段と考えている。</p>	<p>教育実績を掲載した学校案内パンフレット等を作成し、高等学校等へ配布した。また、高等学校対象の学校説明会や出前授業を実施している。</p> <p>さらに、広報担当者が各高等学校の進路指導部を訪問し学習成果を含め詳細を説明した。</p>	<p>県外からの入学生が増えているため、県外の高等学校に対する高等学校訪問や出前授業等の拡充をする必要がある。</p>	<p>学校案内パンフレット 学生募集要項 医療資格テキストブック 出前講義案内パンフレット 本校ホームページ</p>
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	<p>学生募集活動は、高等学校の理解と専修学校協会との連携を図りながら適切に行う方針である。</p>	<p>高等学校や専修学校協会等の申し合わせ事項に沿って、出願受付開始や入学試験開始の時期を設置している。</p> <p>入試形態として推薦入試、一般入試、AO入試などを行い、志望者の状況に応じた受験ができるよう配慮している。</p> <p>学生募集活動は入試広報課が担当し、情報管理の一元化を図っている。</p>	<p>オープンキャンパスや学校見学を一度もしないで受験する県外の方がいるので、県外での学校説明会の拡充や実施方法の工夫が求められている。</p>	<p>学校案内パンフレット 学生募集要項 医療資格テキストブック 学校説明会開催記録 本校ホームページ</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集活動は、高等学校の理解と専修学校協会との連携を図りながら適切に行う方針である。高等学校や専修学校協会等の申し合わせ事項に沿って、出願受付開始や入学試験開始の時期を設定している。</p> <p>学生募集活動は入試広報課が担当し、情報管理の一元化を図っている。</p>	<p>スマートフォンの普及に伴い、スマートフォン用の本校ウェブサイトを実施させている。</p>

最終更新日付

平成28年2月3日

記載責任者

中村 秀樹

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学試験に関する規程を定め、学生募集要項に選考方法等を明記し適切に運用する。	入学試験に関する規程に基づき、学生募集要項に必要事項を記載している。 入学選考では複数の担当者による面接試験を行っている。合否の判定は合否判定会議による公正な判定を行っている。	社会人志望者が増加しており、入学選考方法の一部を工夫することが検討課題である。	学校案内パンフレット 学生募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する実績等の情報を正確に把握・記録し、適切な方法で保管する。 毎年、受験生の動向を分析して、中・長期的な学校運営の指針に活用する。	入学選考に関する情報は専門の部署が正確に把握・記録し、適切な方法で保管している。 これらのデータを活用し、定員の増減を決定した。	学科ごとに受験者の傾向を十分に把握・分析して、授業方法の改善を目指す必要がある。	受験者数の推移表 入学選考資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>入学試験に関する規程を定め、学生募集要項に選考方法等を明記して適切に運用している。入学試験に関する規程に基づき、学生募集要項に必要事項を記載している。</p> <p>社会人志望者が増加しており、入学選考方法の一部を工夫することが検討課題である。</p>	<p>入学実績に基づき、柔道整復科、鍼灸科及び理学療法科の指定校推薦先を決定した。</p>

最終更新日付	平成 28 年 2 月 3 日	記載責任者	中村 秀樹
--------	-----------------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金は教育内容にふさわしい、適切な水準に定めることを方針とする。また、年間諸経費を明記して、入学者が卒業までに必要な経費をすべて明示する。	卒業までの学納金と年間諸経費の金額合計並び納入スケジュールを学生募集要項に明記している。	職業実践専門課程として教育内容の充実や高度化が求められており、適切な学納金と年間諸経費の見直しを毎年検討する。	学生募集要項 学校案内パンフレット 本校ホームページ
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者に対する授業料等の取扱いは、平成 18 年度文部科学省通知の趣旨に沿って適正に対応している。	学生募集要項に入学辞退者に対する授業料返戻の取扱いについて明記し、適切に処理している。	学生募集要項をよりわかりやすい表記となるよう努めていく。	学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は教育内容にふさわしい、適切な水準に定めることを方針とする。また、年間諸経費を明記して、入学者が卒業までに必要な経費をすべて明示する。入学辞退者に対する授業料等の取扱いは、平成 18 年度文部科学省通知の趣旨に沿って適正に対応している。	平成 26 年 4 月に消費税が上がり、一部教材費のコストアップが見られたが、学生の経済的負担を考慮して学納金・年間諸経費を値上げしなかった。教育の質を下げないように、引き続き経費を見直しながら運営していく。

最終更新日付	平成 28 年 2 月 3 日	記載責任者	中村 秀樹
--------	-----------------	-------	-------

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中長期的に安定した学校運営をしていくため、学科の増加や定員の変更について、理事会で検討してきた。その結果、社会からのニーズの高い、診療放射線技師の定員を平成 29 年度より増やし、中・長期的な財務基盤の安定化に努めている。</p> <p>予算は、評議員会の意見を取り入れ、理事会で決定している。予算執行の状況については、理事会及び評議員会に報告し、そこでの意見を取り入れて改善に努めている。また、今年度より学科ごとに担当の副校長を定め、部門別のコスト管理等について取組みを開始した。</p> <p>監査については、私立学校法及び寄附行為に基づき監事によって毎年実施されている。監査報告書はホームページに公開している。また、財務諸表をホームページに載せる等、積極的な公開に取り組んでいる。</p> <p>今後は、財務情報公開規定を整備して、関係者によりわかりやすい情報の提供を行っていく方針である。</p>	<p>学校法人会計基準の 40 年ぶりの改正があり、平成 28 年度から適用される。主な改正点は下記の 2 点である。</p> <p>① 現行の資金収支計算書を作成するとともに、新たに「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」の 3 つの活動ごとの資金の流れがわかる「活動区分資金収支計算書」を導入する。</p> <p>② 従来の「消費収支計算書」の名称を「事業活動収支計算書」へ変更し、経常収支と非経常収支に分けて、「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の 3 区分で表示する「事業活動収支計算書」を導入する。</p> <p>今回の改正により、財務書類内容がより一般にわかりやすく、社会への説明責任をよりの確に果せることになる。また、適切な経営判断に資するものになる。</p>

最終更新日付	平成 28 年 2 月 17 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	財務基盤の安定させるため、5 学科制やスポーツトレーナーコース新設を行い、安定した入学生の確保を目指す。	応募者数の増加が見込まれる診療放射線科の定員を平成 29 年度に増加した。	最も、応募者数の多い看護科の定員の増加を求められている。 職業専門大学（仮称）に向けた取り組みを始める必要がある。	過去 3 年間の決算書 平成 27 年度予算
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	日本私立学校振興・共済事業団が示している、財務分析を実施し、適切な財務管理を行う。	日本私立学校振興・共済事業団の財務分析データを参照し、主に収支のバランスに注意しながら、教育の質向上に努めている。	部門別の財務分析ができていない。各学科、各課におけるコスト管理に努める必要がある。	過去 3 年間の決算書 平成 27 年度予算

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的に安定した学校運営をしていくため、学科の増加や定員の変更について、理事会で検討している。また、今年度より学科ごとに担当の副校長を定め、部門別のコスト管理等について取組みを開始した。	平成 31 年度新設予定の職業専門大学（仮称）に向けての、財務基盤の強化及び設備投資に関する計画の策定が求められている。

最終更新日付	平成 28 年 1 月 27 日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	------------------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	単年度予算・計画及び中期予算・計画を策定し、職業実践専門課程として適切な学校運営を行う方針である。	予算及び計画は、評議員会での検討・検証を経て理事会で決定している。	現在、中教審で職業専門大学（仮称）設置に関する議論が進んでおり、これに対応する予算・事業計画の見直しが求められている。	平成 27 年度予算書 平成 29 年度までの財政計画 定員変更承認申請書 学則変更届
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算と決算の対比を理事会、評議員会に報告し、適切な執行に努めることを方針とする。	理事会、評議員会に予算と決算の対比を報告している。さらに、監査も受け、適切な執行管理に努めている。	平成 28 年度より、学校会計基準が変更するが、予算案については、今年度から作成する必要がある、取り組みを開始した。	過去 3 年間の損益計算書 平成 27 年度予算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
予算は、評議員会の意見を取り入れ、理事会で決定する。予算執行の状況については、理事会及び評議員会に報告し、そこでの意見を取り入れて、改善に努めている。平成 29 年度に診療放射線科の定員の増加が決定しており、平成 31 年度までの学生納付金等の収入の見通しは立てている。	現在、平成 31 年度開設予定の「職業専門大学（仮称）」の審議が中教審で進められている。本校として、この新種の学校設立に向けた柔軟な予算の作成が求められている。

最終更新日付

平成 28 年 1 月 27 日

記載責任者

滝沢 裕子

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	私立学校法及び寄附行為に基づき監事による監査を実施する。	監査結果は、監査報告書まとめられ、理事会、評議員会に報告されている。監査報告書はホームページに公開している。	外部監査機関の活用は検討課題である。	寄附行為 監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法及び寄附行為に基づき監事による監査を毎年実施し、その結果は理事会、評議員会に報告している。監査報告書はホームページに公開している。監事の意見は、理事会等に報告するとともに、活用している。	本年度は学校会計基準の40年ぶりの改正があるので、監事への説明を適切に実施する。

最終更新日付	平成28年1月27日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	------------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に基づく財務情報公開を行う。	ホームページに財務諸表を掲載し、積極的な公開に取り組んでいる。	財務公開規定の整備が遅れている。	本校ホームページ 財務書類（事業報告書、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表、財産目録）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法に基づく財務情報公開を実施しており、ホームページで積極的に公開している。今回自己点検を実施し、財務情報公開規定の整備の必要性を認識できたので整備を行う。	職業実践専門課程の認定を受けることにより、財務情報のより積極的公開を進めることになった。今後は、関係者によりわかりやすい情報公開を目指していく。

最終更新日付	平成 28 年 1 月 27 日	記載責任者	滝沢 裕子
--------	------------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では、社会の信頼を得るため、関係法令及び設置基準を遵守し、適正な学校運営に努めている。また、個人情報保護規定を定め、適切な運用も行っている。今後は、さらにパソコンのウィルス感染を防ぐため、USB メモリ等外部記憶媒体をより厳密に使用する必要がある。</p> <p>本校では、学校評価実施規定を定め、その規定に沿って教職員全員が自己点検・自己評価を行い、その集計をまとめ、ホームページで公表を行っている。</p> <p>「学校関係者評価委員会」を設置し、その結果を報告書にまとめてホームページで公表している。その評価結果を真摯に受け止め、学校運営に活かしている。</p> <p>学校案内パンフレットやホームページ等に情報を公開し、積極的に学生・保護者・関連業界等に教育情報の提供を行い、教育活動の質の向上に努めている。パソコンよりスマートフォンで情報を収集している人が多いため、より分かりやすい情報の提供を検討中である。</p>	<p>本校は、医療系の専門学校であるため、学生が在学中に実習をとおして個人情報を取扱う機会が多い。実習等の前に、個人情報の取扱いについてオリエンテーション等を実施し、個人情報保護について適切に指導している。</p> <p>教育活動のさらなる質の保証・向上のため、平成 28 年度に第三者評価を受審する予定である。</p>

最終更新日付	平成 28 年 2 月 17 日	記載責任者	滝沢 哲也
--------	------------------	-------	-------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	広く社会の信頼を得るため、関係法令及び設置基準を遵守することが重要であると考え、このことを全教職員が認識できるように必要な研修等を実施する。	毎年4月のオリエンテーション時に、教職員・学生を対象とした学則等各種内規の読み合わせを実施して、継続的な指導を行い、適正な学校運営に努めている。	教職員及び学生が各種ハラスメントを起こさないよう適宜指導してきたが、明文化してさらなる周知徹底を図りたい。	認可・届出書類 学則 学生要覧 教職員会議議事録

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>広く社会の信頼を得るため、関係法令及び設置基準を遵守することが重要である。このことを全教職員が認識できるように、必要な研修等を実施する。</p> <p>毎年4月のオリエンテーション時に、教職員・学生を対象とした学則等各種内規の読み合わせを実施して、継続的な指導を行い、適正な学校運営に努めている。</p> <p>各種ハラスメントについては、注意事項について明文化して、さらなる周知徹底を図りたい。</p>	<p>本校は、臨床実習施設として整骨院・鍼灸院、クリニックを管理運営しているため、医療法等の周知徹底が必要である。</p>

最終更新日付	平成28年1月29日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------	-------	------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	関係法令等に沿って、個人情報保護規定を定め、情報漏洩等がないようプライバシー保護をすることを方針とする。	教職員室内に個人情報保護の書面を掲示し、教職員全体に注意を喚起している。 情報漏洩ないように、インターネットが使用できるパソコンを限定している。 データ管理についてパスワードでの管理の徹底、管理者権限の適切な運用を行っている。 学生が実習等の前には、個人情報の取扱いについて事前オリエンテーション等を実施し、個人情報保護について指導している。	パソコンのウイルス感染を防ぐため、USBメモリ等外部記憶媒体の持ち込み等について、より厳密に指導管理する必要がある。	個人情報保護規定 コンピューター使用ルール ウイルス感染等の防止について 学校関係者評価における守秘義務に関する規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護規定を定め、情報漏洩等がないようプライバシー保護をすることを方針とし、教職員室内に個人情報保護の書面を掲示し、注意を喚起している。また情報漏洩がないよう、インターネットが使用できるパソコンを限定している。データ管理については、書類の適切な処分は勿論のこと、パスワードでの管理の徹底や管理者権限など適切な運用を行っている。 パソコンのウイルス感染を防ぐため、USBメモリ等外部記憶媒体の持ち込み等について、より厳密に指導管理する必要がある。	本校は、医療系の専門学校であるため、学生が在学中に実習をとおして個人情報を取扱う機会が多い。実習等の前に、個人情報の取扱いについてオリエンテーション等を実施し、個人情報保護について適切に指導している。

最終更新日付

平成 28 年 1 月 29 日

記載責任者

梅崎 航

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	学校評価実施規程を定め、その規定に沿って自己評価を行い、教職員全員が参加して自己点検を行うことを方針としている。	自己点検・自己評価委員会を設置し、毎年教職員全員で自己点検を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。	教職員内でも、自己点検・自己評価に対する理解にばらつきがあるため、研修会等の開催を検討中である。	学則 自己点検・自己評価表 学校評価実施規定 学校評価委員会議事録
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	関係法令に基づき自己点検結果を公表する。	評価報告書に取りまとめ、本校ホームページにて公表している。	ホームページで公開する位置や方法をより分かりやすくするように計画している。	本校ホームページ
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校教育法及び専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、学校評価委員会を設置し、学校評価を実施する。	学校関係者評価実施規定に基づき、学校関係者評価委員会を設置して、学校評価を実施し、評価結果を学校運営に生かしている。	学校関係者評価委員の学校施設及び授業の見学を充実させ、より建設的な意見を得るよう努める。	学校評価実施規定
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校教育法及び専修学校における学校評価ガイドラインに基づき実施した結果を社会に広く公表するため、ホームページでの公表を行うことを方針としている。	本校ホームページ「情報の公表」に掲載している。 職業実践専門課程基本情報(様式4)においても委員名簿を掲載している。	評価結果をホームページに表示する場所をよりわかりやすくするよう改善している。	学校評価実施規定 本校ホームページ

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校教職員全員が自己点検・自己評価を行い、その結果をまとめ、ホームページで公表を行っている。また学校評価委員を選任し、学校関係者評価委員会を開催し、その結果を報告書にまとめホームページにて公表を行っている。その評価結果を真摯に受け止め、学校運営に生かしている。	教育の質保証・向上のため、平成28年度に第三者評価を受ける予定である。

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学生・保護者・関連業界等に対して積極的に教育情報提供を行い、教育活動の質の向上を目指す。	学校パンフレット等に教育情報を掲載している。 職業実践専門課程の規定に則り、積極的な情報公開に取り組んでいる。	スマートフォンで本校の情報を収集する関係者が年々増加している。さらに内容の充実を図っていく必要がある。	学校案内パンフレット 本校ホームページ(職業実践専門課程基本情報様式4) スマートフォン用学校ホームページ

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>職業実践専門課程の規定に則り、学校案内パンフレットやホームページなどに情報を公開し、積極的に学生・保護者・関連業界等に教育情報の提供を行い、教育活動の質の向上を目指している。</p> <p>スマートフォンで本校の情報を収集する関係者が年々増加している。そのため、さらなる内容の充実を図る必要がある。</p>	平成 28 年度に第三者評価を受ける予定であり、その結果は本校ホームページに掲載する方針である。

最終更新日付	平成 28 年 1 月 29 日	記載責任者	梅崎 航
--------	------------------	-------	------

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の施設・設備等の利用をとおして、各種団体及び地域との連携を深めている。今後さらに利用を広めるとともに、双方向性の情報交換、連携などを充実させ社会貢献に取り組んでいく。</p> <p>本校の教員を高等学校等に派遣し、出前授業を実施して、職業教育やキャリア教育の支援に積極的に協力している。</p> <p>留学生の受け入れを行うため、担当職員を配置し、研修会の参加等受け入れ体制を整備し、国際交流事業の取組みを開始した。今後、国際社会のグローバル化に向け、海外教育機関との交流や国内外に情報発信を行っていくことが課題である。</p> <p>救護活動やトレーナー活動などのボランティア活動を行って、教員の医療活動を身近に体験するとともに、援助などをするにより、自分が目指す職業へのモチベーションを高めている。これは、対象者に合わせた高い技術の修得にもつながっている。このような体験の機会を、いかに多くの学生に与えていくかが今後の課題である。</p>	<p>本校の施設・設備を利用している各種団体からは好評を得ている。とりわけ、少年柔道教室の開催は、地域小学生の肉体的、精神的育成に寄与しており、高い評価を得ている。</p> <p>平成 28 年度は、留学生受け入れ予定である。</p> <p>医療系である本校の特色を生かし、学科の垣根を越え、各種スポーツ競技大会、クラブ活動、近隣の高校運動部活動などでの救護活動やトレーナー活動に積極的に参加させ、社会性を育んでいる。</p>

最終更新日付

平成 28 年 2 月 17 日

記載責任者

滝沢 哲也

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	各種団体に施設・設備等を開放して、地域への貢献や連携を深め、同時に医療技術の普及を目指している。	各種団体や近隣の高校などの勉強会、トレーニング活動に、本校の施設・設備を開放している。 高等学校等にて、本校の教員を派遣し、出前授業を実施して高等学校の職業理解などに積極的に協力している。	施設利用をより広く、効率よくするために、インターネットなどを利用した広報活動を展開していく。	施設利用スケジュール表 施設利用願 施設利用規定 出前トレーナー報告書
10-36-2 国際交流に取組んでいるか	国際社会のグローバル化に向け、留学生の受け入れを行っていく。	平成28年度より留学生を受け入れるため、担当職員を配置し、研修会等に積極的に参加し、受け入れ体制を整備した。	海外教育機関との交流や国内外に情報を発信することが課題である。	平成28年度福岡県移住者子弟留学生入学許可（依頼書）

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の施設・設備等を開放し、各種団体及び地域との連携を深めることをとおして社会貢献をしている。今後さらに利用を広めるとともに、双方向性の情報交換、連携などを充実させていく。本校の教員を高等学校等に派遣し、授業を実施して高等学校の職業教育・キャリア教育に積極的に協力している。</p> <p>留学生の受け入れのため、担当職員を配置し、研修会等に参加するなど、受け入れ体制を整備した。国際社会のグローバル化に向け、海外教育機関との交流や国内外に情報を発信することが課題である。</p>	<p>施設・設備の開放については、各種団体からはおおむね好評を得ている。とりわけ、少年柔道教室の開催は、地域小学生の肉体的、精神的育成に寄与しており、高い評価を得ている。</p>

最終更新日付	平成28年2月2日	記載責任者	加藤 健一
--------	-----------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	学生の社会性を育むため、各種スポーツ大会のサポートに参加させ、治療法などを間近で体験させ、医療技術者としての自覚を促すことを目標とする。	高校選抜テニス大会や野球選手権大会、警察柔道・剣道大会などで救護活動やトレーナー活動の補助を行っている。理学療法科ではデイサービス、老人保健施設での夏祭りなどでボランティア活動をしている。	競技種目特有の怪我などへの対応が弱かった。救護する競技に特有、かつ頻度の高い傷害に対する事前学習が必要である。 障がい者スポーツも継続的に取り組んでいく。	救護・トレーナー活動集計

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>救護活動やトレーナー活動などのボランティア活動で、教員の医療活動を身近に体験するとともに、援助などを行うことにより、選手とのコミュニケーションを深め、自分が目指す職業へのモチベーションを高めた。</p> <p>これは、対象者に合わせた高い技術の修得にもつながっている。このような体験の機会を、いかに多くの学生に与えていくかが今後の課題である。</p>	<p>医療系である本校の特色を生かし、学科の垣根を越え、積極的に各種スポーツ競技大会、クラブ活動、近隣の高校運動部活動などに対し、救護活動やトレーナー活動に参加させ、社会性を育てている。</p>

最終更新日付	平成 28 年 2 月 2 日	記載責任者	加藤 健一
--------	-----------------	-------	-------